

# 工事内容確認チェックシート(竣工)

## (バリアフリー性:等級3対応)

竣工現場検査時

現場検査申請書付表1-3-1

一戸建て等(一般用)  
フラット35S  
各工法共通

### 工事内容確認チェックシート(竣工)(バリアフリー性:等級3対応)

私は、竣工現場検査の申請に当たり、以下の基準について適合していることを確認しました。

基準の概要	確認項目(等級3)	確認内容(等級3)	現場確認欄	備考	
評価方法基準の第5の9「決定する高齢者等居住者等居住者等居住者等の等級3」又は9に適合を申し立てること	部屋の特定居室(廊下等)の床面高	同一階にべき事	<input checked="" type="checkbox"/>		
	段	出入	便所 くつずりと玄関外側の高低差20mm以下であること くつずりと玄関土間の高低差5mm以下であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		浴	20mm以下の単純段差であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		出入	浴室内外の高差差120mm以下でまたぎ段差180mm以下 + 手すり設置 80mm(踏み段 <sup>(※1)</sup> )を設ける場合は360mm)以下の単純段差 50mm以下の単純段差+手すり(設置準備含む) 180mm(踏み段 <sup>(※1)</sup> )を設ける場合は屋内側で180mm、屋外側で360mm)以下のまたぎ段差(赤土引設置準備含む) 300mm以上450mm以下であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	日常生活空間内の段	出入	手すり口と上がりかまち以外は段差はないこと(5mm以内の段差が生じるものを含む)	<input checked="" type="checkbox"/>	
		日常生活空間外の段	日常生活空間外の床 <sup>(※2)</sup> の段差はないこと(5mm以内の段差が生じるものを含む)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	階段	階段がない場合	-	<input type="checkbox"/>	
		段がある場合	階段は所定の均一な勾配であること(勾配22/21以下、550mm≦踏面+2×蹴上げ≦650mm) 踏面寸法195mm以上であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		蹴込み	蹴込み寸法は30mm以下であること 勾配等の基準に該当していること(踏面の狭い方から300mmの位置で規定寸法を確保していること) 回り階段の部分が、所定の形式となっていること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	手すり	ホームエレベーターが設置されている場合	-	<input type="checkbox"/>	
		階段	少なくとも片側に設置されていること(段鼻からの高さ700mm~900mm) 両側に設置されていること(段鼻からの高さ700mm~900mm)(勾配が45度超の場合) 階段無し又はホームエレベーター設置	<input checked="" type="checkbox"/>	
		浴	設置(浴槽出入りのためのもの) 設置(上がりかまち部の昇降及び靴等の着脱のためのもの) 設置準備(上がりかまち部の昇降及び靴等の着脱のためのもの)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	脱衣室	脱衣室	設置(衣服の着脱のためのもの) 設置準備(衣服の着脱のためのもの)	<input checked="" type="checkbox"/>	
		階段及び12階以上の窓	腰壁、手すり高さ、手すり子の内法寸法が所定の寸法であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		転落防止手すり子	窓台、手すり高さ、手すり子の内法寸法が所定の寸法であること 腰壁、手すり高さ、手すり子の内法寸法が所定の寸法であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
通路及び出入口の幅員(日常生活空間)	通路	有効幅員780mm(柱等の箇所は750mm)以上であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	玄関	750mm以上確保されていること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	浴	750mm以上確保されていること 軽微な改造により750mm以上確保が可能であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
浴室の広さ	内法短辺	1,300mm以上であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	内法広辺	2m <sup>2</sup> 以上であること 1,300mm以上であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	便所	便器の前又は側方との距離が500mm以上(ドアの解放又は軽微な改造を含む)であること 軽微な改造により1,300mm以上確保が可能であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
居室、浴室及び便所(日常生活空間)	内法長辺	腰掛け式であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	便所	内法面積9m <sup>2</sup> 以上であること	<input checked="" type="checkbox"/>		

注) フラット35S(特に優良な住宅基準(バリアフリー性)をご利用の場合は、本チェックシートではなく、「工事内容確認チェックシート(竣工)(バリアフリー性:等級4対応)」を利用して下さい。

注) 申請者、工事監理者又は工事施工者は、本表で囲われたところをチェック又は記入してください。

※1) 踏み段の構造要件

設置部	段数	高さmm	奥行mm	幅mm	その他
バルコニー出入口	1	180以下	300以上	600以上	バルコニー端との距離1,200mm以上

※2) 居室の部分の床の段差許容要件

位置: 介助用車いすの移動の妨げとならない

面積: ①3m<sup>2</sup>以上9m<sup>2</sup>(当該居室18m<sup>2</sup>以下の場合に当該面積の1/2)未満  
②当該面積部分の合計が当該居室面積の1/2未満

辺: 長辺1500mm以上(工事を伴わない撤去可)

その他: その他の部分の床より高い

※) 以下に掲げるものはこの限りではありません。  
玄関の出入口(勝手口を含む)の段差及び上がりかまちの段差、浴室の出入口の段差、バルコニーへの出入口の段差、室内又は室の部分の床とその他の部分の床の90mm以上の段差

20121001

等級3のチェックシートであることを確認します。

段差のない構造には、5mm以下の段差が生じるものを含まず。

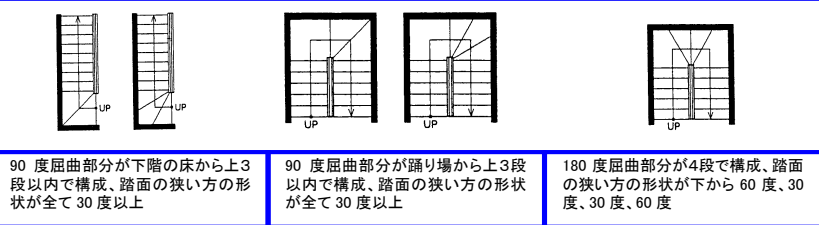
該当する項目全てに☑することが必要です。

一つの枠の中に2つ以上の口がある場合は、該当する仕様を1つ以上選択し、☑します。

玄関と脱衣室の手すりについては、設置されているか、手すりの下地補強がされていることを確認した場合は、☑します。

手すり子内法寸法は、床面及び腰壁等又は窓台等からの高さで800mm以内の部分で110mm以下であることを確認し、☑します。

各部の寸法は回り階段においては踏面の狭い方の端から30cmの位置における寸法とします。なお、右図に該当するケースは、この限りではありません。



機構承認住宅(設計登録タイプ)の場合、本工事内容確認チェックシートの提出は不要